#日日日か		事工業宣	空事門学校	開講年度	<b>今和03年度 / 3</b>	0021年度)		英語IV B				
新田田田			<del>する</del> 门 ナ 牧		市和05平皮 (2	1021+1支)	1又未付口	大品IV D				
接触		ピート・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー・ドロー	0042			1N日区公		<b>从</b> 校				
機能が   場所である   「Creative Listening Stage 2」 しいする。情報   1015年 / ドムクツが「SA とピーチ」リスニング」朝日出版社   2010年 / 「Creative Listening Stage 2」 しいする。						7						
回数								. 1				
### (Procetive Listening Stage 2) いいずは関係。2019年(十六ケツ京(名人ピーチ)リスニング)朝日出版社 2019年(2019年(10Cet 12600 理工系学生のための必要単語2000) (				<del> </del>								
理当報目	数利量/数++ 『Creative L			Listening Stage 2』いいずな書店,		2015年/『キムタツ式「名スピー						
回数性の影ければ知について、変数を開発、情報が表えなどを開発することができる。	切			COCE12600	理工糸子生のための	儿心修兴早品2000	』	<del>'4</del>				
日日生活の単元が結婚について発感を削さ、係能性を表別とを理解することができる。 ・静静的に実術によるコミューケーションを関合するでは、2016年150日)を500個番目することができる。 ・静静的に実術によるコミューケーションを関合するとする態度を得について表したができる。 ・神静的に実術によるコミューケーションを関合するとする態度を得について表したができる。 ループリック    理想的な問題レベルの目皮		<u> </u>										
・理点の注射性に関することができる。	<ul><li>・日常生活</li><li>・英語に</li></ul>	舌の身近な	話題について英 ニケーションに	語を聞き、情報や必要な基本的なよ	P考えなどを理解す な法力を身につける	ることができる。 ことができる。						
理想的公司達レベルの自安	・ 頼    ・ 頼          ・ 東											
日音性語の療法な話題について実   日音性語の療法な話題について実   日音性語の療法な話題について実   日音性語の発表の意図となる。	ルーブリ	Jック										
語を聞き、所語の意図をどを正確   語を聞き、病語や考えなどを理解   写ることができる。				理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安				
マントネーションなどを里縛する				語を聞き,発話の意図などを正確		語を聞き,情報や考えなどを理解		望 語を聞き、情報や考えなどを理解 P				
<ul> <li>必要な基本的な結構を正確に身に</li></ul>				イントネーションなどを正確に理		イントネーションなどを理解する		5  イントネーションなどを理解する				
<ul> <li>教育方法等</li> <li>英語 IA · IB · 英語IVAで培われた英語の音声によるコミュニケーション能力を発展させ、主に高専生として求められるリスニング能力を見に付けることを目的とした授業である。同時に、英様でTOEICなどの外部試験の中でも、特にして、イング部門にも対応できる能力の育務を目指す。また、英語によるコミューケーションと図及な話を対象で表力を見に付けるとともに、機能的に表話しておった。さらなる高質生に必要な結構力も数なする。</li></ul>	評価項目3 語彙			英語によるコミュニケーションに 必要な基本的な語彙を正確に身に		英語によるコミュニケーションに 必要な基本的な語彙を概ね身に付		必要な基本的な語彙を身に付ける				
機要	学科の発	]達目標耳	頁目との関係	<del>-</del>								
機要	教育方法	去等										
接業部に、以スニング能力を養成と対応した自主教材のブリントを配布するので、保存用のファイルを準備すること。 ・授業時に、英校やTOEICなどの外部試験に対応した自主教材のブリントを配布するので、保存用のファイルを準備すること。 ・ごは、COCET2600』の学習については、これまで既習した語彙の定着を確認しながら、No.1501-2000の発音練習や例のディクテーションなどを行いなから語彙の定着を図る。 ・ 下期的なリスニングや単語の小テストを実施し、試験域域と図の成態を記める。小テストのスケジュールは実業特に伝える。 ・中間試験および定期試験を実施し、試験域域(2回の試験の平均点)を60%、小テストの成績を20%、授業での積極的 ・授業中はリスニング活動や音話練習などを中心に行うので、積極的に参加することが重要である。 授業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 授業計画 □ 関	るリスニング能力を身に付けることを目的とした授業である。同時に、英検やTOEICな   概要							EICなどの外部試験の中でも、特にリーションに必要な基本的な文法力を身を涵養することも目的とする。さらに				
注意点	授業の進め方・方法		読練習を行 ・授業と。 ・『COCE" のディクテ ・定期的な 出(条件が	<ul> <li>読練習を行い、リスニング能力を養成する。</li> <li>・授業時に、英検やTOEICなどの外部試験に対応した自主教材のプリントを配布するので、保存用のファイルを準備すること。</li> <li>『COCET2600』の学習については、これまで既習した語彙の定着を確認しながら、No.1501-2000の発音練習や例文のディクテーションなどを行いながら語彙の定着を図る。</li> <li>・定期的なリスニングや単語の小テストを実施する。欠席等により受験できなかった場合、1週間以内の本人からの申し出(条件が合わず、受験不可の場合もあり)があれば、追試験を認める。小テストのスケジュールは授業時に伝える。</li> </ul>								
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 □ 授業内容 □ 週ごとの到達目標 □ ガイダンス □ 事前テスト(リスニング、語彙) □ 共前・アトで前期の学習内容の定着率を図る。 □ リンガボルタ: 1501~1525・ガイダンス □ 専請・アトで前期の学習内容の定着率を図る。 □ 以のガボルタ: 1526~1550 □ 取るごとができる。 □ 以のガボルタ: 1526~1550 □ 取るごとができる。 □ にてき込むできる。 □ にてき込むできる。 □ にてきはいとはstening: Lesson 12 □ シリンガボルタ: 1551~1575 □ できる。 □ には間き取るごとができる。 □ には間さ取るごとができる。 □ にははに間さまなるとができる。 □ にないとはははいは、 □ リンガボルタ: 1576~1600 □ によりのできる。 □ にないとはははいは、 □ 関係代名詞の省略された文や例を示す表現を正確に関き取ることができる。 □ にないとはははいは、 □ 関係代名詞の省略された文や例を示す表現を正確にははないとうができる。 □ にないとができる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないとりにはははいは、 □ 関係副詞(where)、「情報を追加したり、結論を対したアーションと音読練習を通して内容を理解できる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にないとりにははははいは、 □ 関係副詞(where)、 □ に関う取るごとができる。 □ にないできる。 □ にないできる。 □ にははを記述されたりにはないとができる。 □ にないできる。 □ にははを記述されたりの出す表 □ にないできる。 □ にないにないないないないないないないないないないないないないないないないないな	注意点		な参加状況 ・授業中は	及び課題の提出状	∜況を20%として総		•					
授業計画   週   授業内容   週ごとの到達目標   ・ガイダンス   ・東前テスト(リスニング、語彙)				□ ICT #II⊞			-	□ 中数収除のも2数号による振光				
週   授業内容   週ごとの到達目標   ・ガイダンス   ・事前アスト (リスニング、語彙)   ・東語IVBの学習方法を確認する。		-イノフー_	<u>- ンク</u>			□ 逐隔投票外心	<b>N</b>	□ 美務経験のある教員による技業				
週   授業内容   週ごとの到達目標   ・ガイダンス   ・事前アスト (リスニング、語彙)   ・東語IVBの学習方法を確認する。	授業計画	 Fii										
1週 ・ガイダンス	, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	i –	调 拇	業内容		I	週ごとの到達日達					
2週	後期	3rdQ		・ガイダンス			・英語IVBの学習	 習方法を確認する。				
後期 3rdQ 3rdQ - Creative Listening: Lesson 13			2调 •	Creative Listening: Lesson 11 名スピーチリスニング: Part 2 (U1)		・ディクテーションと音読練習を通して内容が理解で						
後期 3rdQ 4週 ・Creative Listening: Lesson 13 ・ カスピーチリスニング: Part 2 (U3) ・ アイクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。 ・ ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。 ・ 関係副詞(where)、情報を追加したり、結論を導く表現を正確に聞き取ることができる。 ・ ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。 ・ ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。 ・ アイクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。			3调  •	名スピーチリスーシグ・Part 2 (U2)		2)	・関係代名詞(who)、情報を列記するサインの表現 を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して、内容が理解					
Sign			4週   ・	・名スピーチリスニング:Part 2 (U3)		・ディクテーションと音読練習を诵して内容を理解す						
<td blue;="" blue;<="" color:="" rowspan="2" td=""><td> 5週  ・</td><td colspan="2">・名スピーチリスニング:Part 2 (U4)</td><td colspan="2">・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解す ることができる。</td></td>			<td> 5週  ・</td> <td colspan="2">・名スピーチリスニング:Part 2 (U4)</td> <td colspan="2">・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解す ることができる。</td>	5週  ・	・名スピーチリスニング:Part 2 (U4)		・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解す ることができる。					
7週 ・名スピーチリスニシグ: 復習 ・リンガポルタ: 1651~1700				6週  ・	・名スピーチリスニング:Part 2 (U5)		'/ I	・関係副詞(when)、言い換えや本心を切り出す表現を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。				
8週 後期中間試験			7週   •	・名スピーチリスニシグ:復習			これまで学習してきた特に文法事項に焦点をおいた復習を行い、総合的な復習をして理解を深める。					
		<u> </u>	8週 後	期中間試験								

		9週	・試験返却・試験直しし ・リンガポルタ:1751		試験のリスニングを再度聞き直し、理解を深めたり、 間違えた箇所を確認し、間違い直しのレポートを作成 する。						
	4thQ	10週	・Creative Listening: ・名スピーチリスニング ・リンガポルタ: 1801	ブ:Part 2 (U6)	・比較(原級)、順番を表す表現を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。						
		11週	・Creative Listening: ・名スピーチリスニング ・リンガポルタ: 1826	Lesson 17 $\vec{\sigma}$ : Part 2 (U7) $\sim$ 1850	・比較(比較級)、申し出を表す表現を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。						
		12週	・Creative Listening: ・名スピーチリスニング ・リンガポルタ: 1851	Lesson 18 ブ: Part 2 (U8) ∼1875	・比較(最上級)、言い換えの表現を正確に聞き取る ことができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解す ることができる。						
		13週	・Creative Listening: ・名スピーチリスニング ・リンガポルタ: 1876	ブ:Part 2 (U9)	・仮定法過去、ためらいを表す表現を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。						
		14週	・Creative Listening: ・名スピーチリスニング ・リンガポルタ: 1901	Lesson 20 $\vec{\sigma}$ : Part 2 (U10) $\sim$ 1925	・仮定法過去完了、順番を表す表現を正確に聞き取ることができる。 ・ディクテーションと音読練習を通して内容を理解することができる。						
		15週	定期(後期末)試験								
	16週		試験返却、試験直しレオ	ポートなど							
評価割合											
			試験	Quiz	課題・積極性	合計					
総合評価割	合		60	20	20	100					
基礎的能力	J		60	20	20	100					
専門的能力	)		0	0	0	0					
分野横断的	能力		0	0	0	0					